

レース名	日付	クラス	場所	コース	展開	想定馬場	ポイント
サンタアニタトロフィー	2018/8/1	SIII	大井	1600m	ハイペース	良	展開

枠	馬番	馬名	性齢	斤量	騎手	父	父系統	母父	母父系統	能力	騎手	適性	展開	総合評価	期待値	印	結果
1	1	モンドアルジェンテ	牡6	56	御神本	クロフネ	ノーザン系	サンデーサイレンス	サンデー系	B	A	C	B	B	B	△1	
2	2	ムサシキングオー	牡9	56	本田	キングヘイロー	ノーザン系	ラストタイクーン	ノーザン系	C	B	B	C	C	C		
3	3	グランディオーツ	牡9	56	吉原	アフリート	ミスプロ系	メジロライアン	ノーザン系	B	A	C	B	B	C		
4	4	カンムル	牡4	58	左海	サマーバード	ミスプロ系	Star de Naskra	ナスルーラ系	B	B	B	B	B	B	△3	
	5	ゴーディー	牡10	56	的場文	プレシャスカフェ	ノーザン系	コノミテイオー	ザテトラーク系	D	C	B	D	C	C		
5	6	サージェントバッジ	牡6	55	赤岡	ステイゴールド	サンデー系	Fusaichi Pegasus	ミスプロ系	C	A	D	B	C	B	△2	
	7	リコーベルリネッタ	牡6	54	藤本	スパイクユール	サンデー系	カコイシーズ	アリダー系	D	C	B	B	C	C		
6	8	グランユニヴェール	牡5	54	高松	ネオユニヴァース	サンデー系	シンボリクリスエス	ロベルト系	D	C	B	B	C	C		
	9	フォクスホール	牡5	56	繁田	ホールウォーカー	サンデー系	リキアイワカタカ	ミスプロ系	B	B	B	C	B	B	▲	
7	10	リアライズリンクス	牡8	57	岡部	ダイタクリューヴァ	サンデー系	マイネルラヴ	ミスプロ系	B	B	B	B	B	B	×1	
	11	バルダッサーレ	56	56	笹川	アンライバルド	サンデー系	フジキセキ	サンデー系	A	B	A	B	A	B	◎	
8	12	ニシノラビート	55	55	瀧川	サウスヴィグラス	ミスプロ系	Dynaformer	ロベルト系	D	B	B	D	C	C		
	13	ヒガシウィルウィン	59	59	森	サウスヴィグラス	ミスプロ系	ブライアンスタイム	ロベルト系	A	A	B	B	A	B	○	

隊列図	見解	ラップタイム
ゴーデ ニシノ ヒガシ フォク リアラ カンム ムサシ グラユ リコー モンド バルダ サージ グラデ	<p>今年のサンタアニタトロフィーは展開がカギになりそうだ。まず道中の隊列予想図が左の通り。逃げるはゴーディー。(中略)そして展開のカギを握るのはヒガシウィルウィン。振り返れば、昨年のジャパンダートダービーを制して以降、約1年間勝ち星なし。出走したレースのほとんどがダートグレード(しかもG1・Jpn I)なので仕方ない面はあるが、今回は言い訳無用の南関東同士の重賞。しかも大井記念で敗れたリッカルドが不在なら負けられない立場だろう。道中はゴーディー、ニシノラビートを見ながらの3、4番手を追走し、直線入り口では早くも先頭に並びかけるような形になるのではないかと。内回りコースでもあるので悠長には構えないはずだ。逃げ、先行勢がヒガシウィルウィンを振り切ることは考えづらく、狙うべきはヒガシウィルウィンの動き出しに合わせて虎視眈々と勝機をうかがえる差し、追い込み勢と見た。それでは予想にいきましょう。</p> <p>本命はバルダッサーレの差し切りに期待したい(以下省略)。</p>	回顧 次走狙い馬

枠	馬番	馬名	印	評価	結果	回顧
1	1	モンドアルジェンテ	△1	前走大井記念は早めにヒガシウィルウィンに競いかけながら、そのヒガシウィルウィン（3着）から0.3秒差の6着。今回は斤量3キロ差。最内枠は微妙だが、ヒガシウィルウィンに迫ってもいい。		
2	2	ムサシキングオー		重賞でたびたび好走しているように能力的に見劣ることはないが、立ち回りを生かしたいタイプ。今回はヒガシウィルウィンが逃げ、先行勢を潰すことよっての追い比べになりそうで、本馬の得意な展開にはならないはず。		
3	3	グランディオソ		浦和記念では本命に推し、3コーナーでは馬券圏内が見えたが、まさかの落馬。今回は仕切り直しの一戦だが、いくら鉄砲駆けするタイプとはいえ、約8ヶ月ぶりの実戦はさすがに割り引きだろう。浦和記念の予想記事で書いたが、器用さがウリなので、船橋や浦和の方がよりいい。		
4	4	カムル	△3	前走が長期休養明けの短夜賞で5着。相手関係を考えると物足りないともいえるが、ハイペースで飛ばしたサニーデイズを追いかける損な役回りだった。2走前の埼玉新聞栄冠賞ではJRAの基オープン馬・ディアドムスを下して勝利。本来の力を出せれば、巻き返しがあってもいい。		
	5	ゴードイー		2走前のアルクソールズ賞で久しぶりの勝利を挙げたが、6頭立ての超低レベルなメンバー構成。前走武蔵野オープンでは自分の形に持ち込めなかったとはいえ、バルダッサレ、フォクスホール以下に完敗。重賞では荷が重い。		
5	6	サージェントバッジ	△2	前走大井記念で勝ち馬リッカルドに次ぐ上りをマーク。レースの流れに乗れていなかったため、数字通り評価していいか微妙だが、今回も上位人気に推されているモンドアルジェンテとの差がなかったのは事実。そのモンドアルジェンテとのオッズ差を考えると、本馬は人気がなさ過ぎだろう。		
	7	リコーベルリネッタ		前走サンタアニタトロフィートリアルを約半年ぶりの実戦で勝利するも、元々鉄砲駆けの利くタイプで、展開の後押しも大いにあった。今回、上位争いするには走破時計を1秒以上縮める必要がある。健闘しても掲示板まででは。		
6	8	グランユニヴェール		3歳時はクラシック路線を歩んでいたが、古馬になってからの成長がひと息。近走はA2で掲示板外の走りが続いており、重賞では荷が重だろう。		
	9	フォクスホール	▲	2走前の武蔵野オープンでは重賞実績のあるニシノラピート、キングニミツ、スアデラらを下しての2着。走破時計を考えても、この条件の重賞なら十分に勝ち負けに加わってもいい。なにより武蔵野オープンの勝ち馬バルダッサレに本命に推す以上、本馬も上位に評価したい。		
7	10	リアライズリンクス	×1	2走前の京成盃ランドマイルズ2着が示す通り、能力はまだまだ健在。今回はメンバー的に京成盃ランドマイルズ同様、道中に脚を溜める形になりそうで、展開自体は向くのではないか。乗り難しい面があるので、テン乗り自体は割り引きだが、能力通りなら上位進出してもいい。		
	11	バルダッサレ	◎	完全に過去の馬になっていたが、大敗した川崎マイルズから連闘で挑んだスポーツ報知賞で久しぶりの勝利を挙げると、前走武蔵野オープンでは外から豪快にマクって連勝。近2走は1頭だけ抜けた上りをマークしており、ここに来て完全復調してきたと判断していいだろう。		
8	12	ニシノラピート		2走前の武蔵野オープンではバルダッサレ、フォクスホールに完敗。今回は相手がさらに強化されるので上位争いまでは難しいのでは。		
	13	ヒガシウィルウィン	○	2走前の大井記念は物足りなかったが、前走帝王賞では上り2位をマークして勝ち馬ゴールドドリームから1.0秒差の5着。大井記念から時計を一気に詰めており、叩き3走目で良化していたのだろう。今回は南関東馬同士。斤量59キロを背負うとはいえ、さすがに馬券圏外に飛ばシーンは考えづらい。		